

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8243
担当部課名	環境保全部	公園	課	整備
事務事業名	峰山霊園整備事業		事業コード	22410

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	水やみどりの保全と創造に努めます	事業開始年度
基本施策名	第4節	魅力ある公園づくり	~63 年度
施策名	第1施策	みどりの核となる公園づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

都市公園法、墓地、埋葬等に関する法律
--------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
近年の墓地需要の高まりや、参拝に伴うレクリエーション需要に対応するため。		市民	
		対象数	245,687世帯
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>峰山霊園普通墓所整備工事 463区画 (請負金額 47,759千円)</li> <li>峰山霊園芝生墓所整備工事 510区画 (請負金額 55,524千円)</li> <li>峰山霊園造成外整備工事 (請負金額 22,332千円)</li> <li>峰山霊園給排水衛生設備工事 (請負金額 9,135千円)</li> <li>峰山霊園電気設備工事 (請負金額 5,250千円)</li> <li>峰山霊園誘導サイン設置工事 (請負金額 1,675千円)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>みどりの核となる公園の整備</li> <li>計画決定面積 16.0ha</li> <li>計画墓所区画数 6,500区画</li> <li>平成14年度目標 4,608区画</li> </ul>	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	整備率		
指標式	累積整備区画数 / 全体整備計画区画数 × 100		
指標設定の意図	全体の整備計画区画数のうち整備の進捗を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	59	59	a 74	b 71	71
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		141,675	223,756	
	人員・時間数		(0.9人)	(0.9人)	
	人件費		7,578	7,578	
	その他経費				
	合計	0	0	149,253	231,334
特定財源					0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 104.1%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{73.8}{70.9} \times 100 = 104.1\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	平成13年度の墓所区画数を見直したため、当初目標を上回った。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	核家族化が進む中で、墓地需要が増加してきている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	墓所区域内で残土を有効利用したり工事間で流用する等コスト縮減に努めた。また、限られた墓所区域内で需要に見合った区画数・面積の見直しが必要と思われる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	民間の霊園はあるが、本来的に墓地は公共団体が行うものとされているため。また、県が霊園を設置する計画はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	有骨区分で公募の倍率が1.41倍であり、需要をすべて満たしてはいないが、前回の公募に比べ倍率は下がっている。しかしながら、現計画では残り2期、1701区画で終了してしまうため、今後の需要に対応できない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	計画的に墓所整備を行い、既存のみどりを多く残し、レクリエーションの場としても整備を進めていく。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 墓所区画数・面積を見直し、より現在の需要に対応できるよう検討する。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 区画面積の見直しを行った場合でも、1区画あたりの整備費は変わらないが、合祀墓等をつくることにより、限られた面積の中でコストを抑え多くの需要に答えることが可能になる。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	・習志野市海浜霊園 3㎡/区画 ・市原市海保公園 3.1㎡/区画
		今後新しい墓地計画として、区画面積・区画数の見直しを含め検討していく。整備上の苦情はほとんどない。
今後の進め方		説明
<input type="checkbox"/>	継続	
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--